

フォックステーリング 専用受信機

FRX-2001 取扱説明書

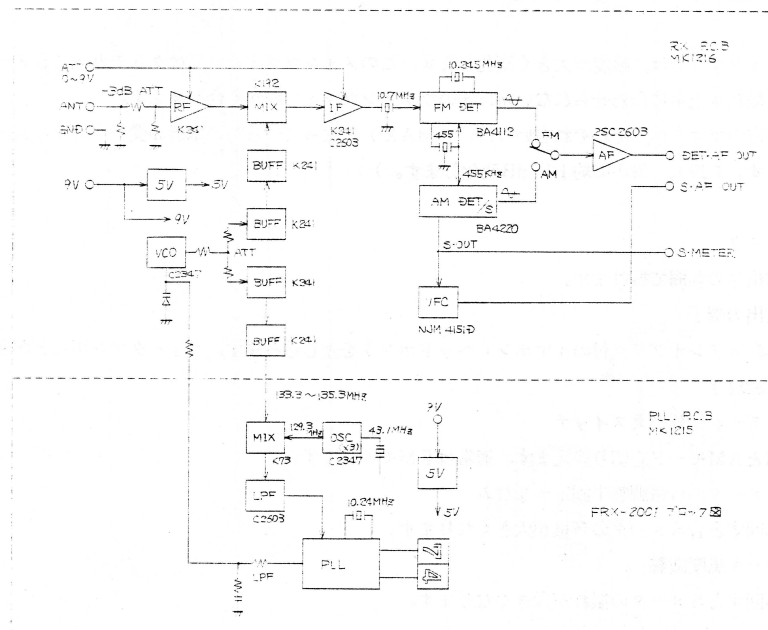
FRX-2001 ￥28,000

FRX-2001DX ￥35,000
(FOXインジケーター付)

1. 仕様

受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン	アンテナ型式	2エレメント HB9CV
1st IF	10.7MHz	電源電圧及び	単3マンガン乾電池
2nd IF	455KHz	消費電流	6本(9VDC)42mA
受信ch	144.00~145.99MHz (10KHz ステップ)	連続使用時間	4~5時間(標準電池にて)
受信感度	FM0dB入力時S/N20dB以上 AM3dB " " 15dB以上	受信出力	8~32Ω 3.5φSTジャック
メーター感度	10dB入力時 S÷9 (RX P.C.B.ANT端子入力時)	外形寸法	(W)50×(H)60×(D)284 mm
受信モード	FM, AM 2モード	重量	720g (ANT, BATT含む)

2. ブロックダイアグラム



3. 各部の説明

① 付属アンテナ

ケースにある4箇所BNCジャック②にステンレスホイップを差し込み、HB9 CV 2エレメントアンテナとして動作します。

② アンテナBNC端子

前述の①ホイップアンテナを差し込みます。(BNCタイプ)

③ コインネジ

4箇所のコインネジをゆるめると、上ケースが取れます。上ケースを取ると右図のようになっていますので、バッテリー交換及び周波数変更が出来ます。(右図は上ケースが取れた状態の絵です。)

④ 周波数設定スイッチ

サムホイールタイプのスイッチです。左が100KHz、右が10KHzの桁を切り換えます。(右図はバンドスイッチが145MHzなので145.74MHzの状態)

⑤ バンド設定スイッチ

144と145MHzを切り換えます。(下図は145MHzの状態)

⑥ 電源スイッチ(POWER)

ONで電源が入ります。

⑦ メインゲインコントロールツマミ(MAIN)

右いっぱい(MAX)で最大感度になります。

⑧ ファインゲインコントロールツマミ(FINE)

右いっぱい(MAX)で最大感度になります。

メインツマミは、感度が大きく変化します。このメインツマミだけではクリチカルでSメーターの振れが上手に合わせられない時は⑧のファインツマミで細かく合わせます。

両方のツマミが、それぞれ右いっぱい(MAX)になっている時に本機の受信感度が最高になります。(最大、最小で約100dB変化します。)

⑨ Sメータ

受信信号の強弱で振れます。

⑩ 受信出力端子

3.5φステレオプラグ付のイヤホン(ヘッドホン)を差し込みます。ウォークマン用などが便利です。(8~32Ω)

⑪ 受信モード切り換えスイッチ

FMとAMモードを切り換えます。通常はFMモードです。

⑫ 音Sメータの音量調整半固定ボリューム

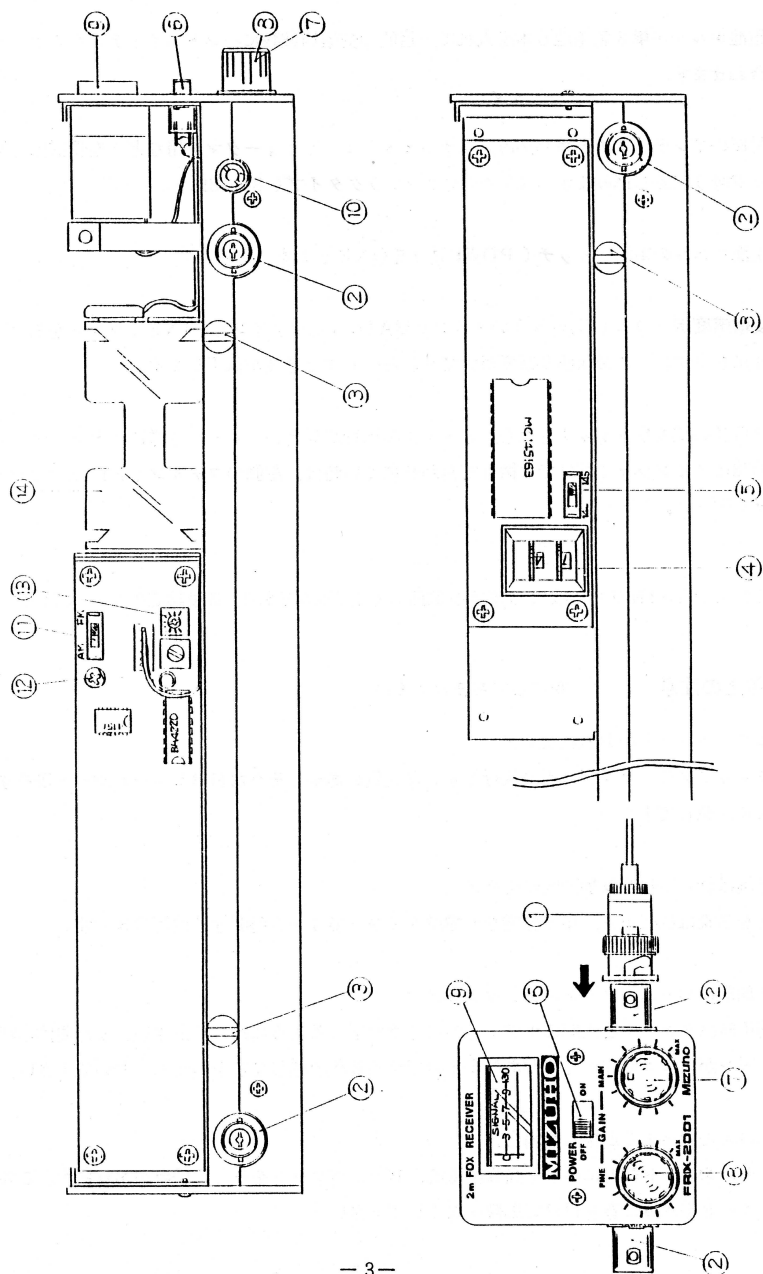
右へ回すと音Sメータの音量が大きくなります。

⑬ Sメータ感度調整

右へ回すとSメータの振れが大きくなります。

⑭ 電池ホルダー

単3型乾電池6本を⊕⊖に注意して入れます。



4. 受信操作

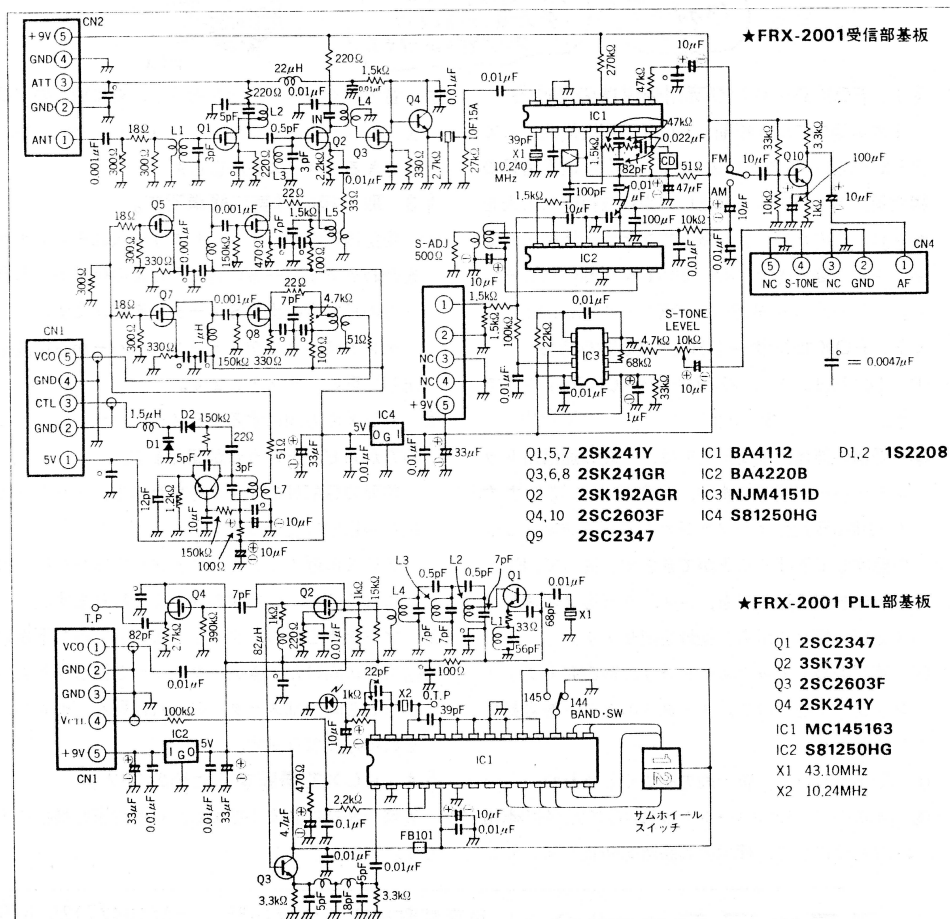
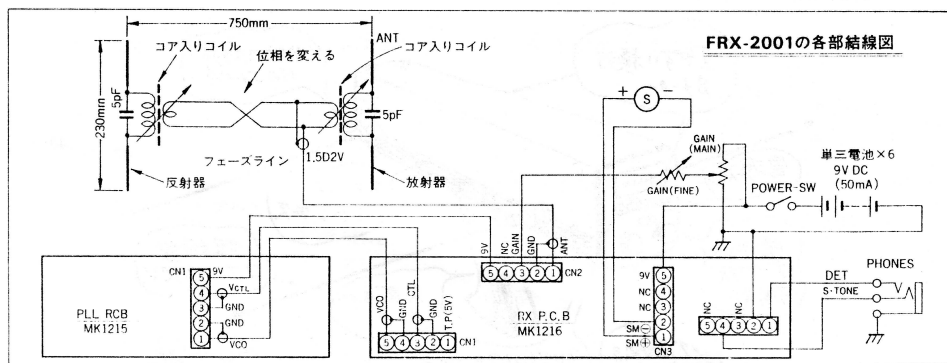
- (1) 上ケース固定用コインネジ(前述2ページ③) 4個をゆるめると上ケースが取れます。
- (2) 電池ホルダに単3乾電池6本を入れて、目的の受信周波数にバンドスイッチとサムホイールスイッチで合わせます。
- (3) 付属のアンテナ4本を差し込み、ステレオイヤホン(ウォークマン用など)を受信出力端子(前述2ページ⑩)に差し込みます。3.5 ϕ イヤホンプラグタイプ(8~32 Ω)。
- (4) 正面パネルの電源スイッチ(POWER)をONにします。
- (5) 受信感度ボリューム(GAIN)のメイン(MAIN)とファイン(FINE)ツマミを右いっぱい(MAX)にします。この状態が感度最大です。左へ回すと感度が低下します。
- (6) FOXの電波をキャッチしたら、Sメータの指針が具合よく振れる様にメインツマミで合わせます。この時にメインツマミだけでは微妙で合わせにくい時は、左側のファイン(FINE)ツマミで細かく合わせて下さい。

これらのGAINツマミは、受信感度を調節するボリュームであり、音量調節のツマミではありません。

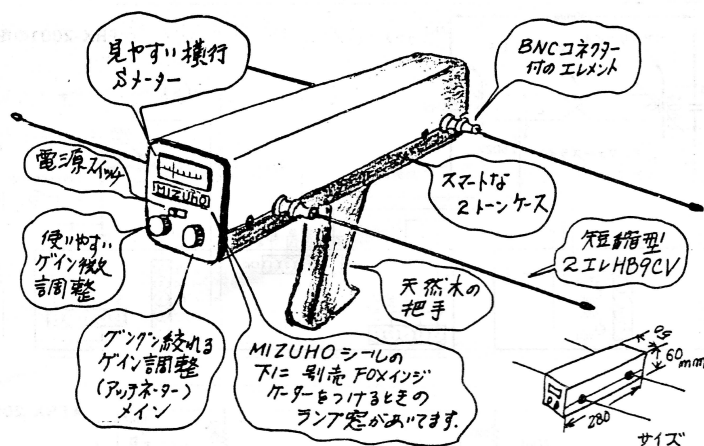
5. 使用上の注意 かならずお読み下さい。

- (1) ビニールシートをお忘れなくノ
フォックスレーリングは雨天決行です。お天気のあやしそうな日はビニールシート等をまいて雨水の侵入に注意して下さい。
- (2) 電池は新しい物を参加の度に交換ノ
消費電流は約42mA、単3乾電池(標準タイプ)で4~5時間連続使用OKです。
- (3) 参加前にビームパターンのチェックをノ
使用時はアンテナと人間のボディとがなるべく離れるように持って下さい。また周囲の状況などでもパターンが大きく変化する時がありますので予め変化の感じなどをつかんでおいて下さい。
- (4) FOXと数mまで近接した場合ノ
イヤホンコードなどに生じる高周波電流がビームパターンをみだす場合があります。この場合、イヤホンコードを本体に巻き付けて影響をなくして下さい。

(『ラジオの製作』1990年7月号より)



FOXセンサー FRX-2001 各部の説明



§1 FOXテーリング専用受信機のあゆみ

ミズホ通信では5年前、FOX専用受信機としてFRX-144を世に送りしました。熱心な選手諸兄の御要望、アドバイスをもとに、当社技術陣も工夫をかさね、このたび、受信機とアンテナ一体型として、使いやすさ最優先のFRX-2001を開発いたしました。(完成品のみ ¥28,000 DXタイプ ¥35,000)

§2 FOXセンサー FRX-2001の特長

- ① 144MHz バンドフルカバー200CH PLL内蔵です。 (〒800) 〒300
- ② 受信性能は、感度最大では、一般の通信用トランシーバーと同等ですが、感度最小に絞ります (-100dB)と、ゲルマラジオ (鉱石ラジオ) なみの感度まで下げることができます。従って、FOX 1m位まで接近しても、Sメーターをフルスケール (振れ切れ) から、指針を戻せます。
- ③ 感度調整 (アッテネーター) に微調整 (ファイン) ツマミをつけて、メーターのセットを容易にしました。
- ④ 把手をつけて、腕の疲労を少くしました。
- ⑤ 4本のアンテナエレメントはBNCプラグ付の本格的なものにして、使用中の脱落を防止しました。

- ⑥ 音で聞くSメーターを内蔵し、更に別売のFOXインジケータ (FO-5D. ¥4,800) を内蔵できるスペースを用意しました。

§3 取り扱いには実に簡単です。

- ① 受信機に電池 (単3、6本) を入れチャンネルを合わせます。一方の耳でFOXの信号を、もう一方の耳で音の出るSメーターを聞きます。テストは、ハンディトランシーバーから電波を出して貰い、テストします。
- ② FOXの方向にするとSメーターが振れ、音Sの方からピーという音が聞えます。前面のGAINのツマミをまわすと、メーターの振れが自由に変わります。FOXに近づくとも更にメーターの振れがはいになるので、GAINのツマミで絞ります。
- ③ アンテナを持ってグルッとまわってみて下さい。信号源に向けたときメーター7~8振れたものがうしろ向ではメーターの振れは殆んどゼロか、それに近くなります。

§4 FOXで優勝するためのコツ。

実際の競技に数多く参加し、日々練習を積むことです。